

# 2人の主治医が連携し、より手厚いがん診療を提供するための 「東京都医療連携手帳」

東京都では、安全で質の高いがん医療を切れ目なく提供していくために「東京都医療連携手帳」を運用しています。かかりつけ医と専門病院医師が、検査結果や経過などの情報を定期的に共有しながら、2人で患者さんの主治医を務めることで、より手厚いがん診療を行えるようになります。



患者さん

## 東京都医療連携手帳 による情報の共有

日頃の診察  
を担当

**かかりつけ医**  
(近所のクリニックなど)

- ・定期的な診察、検査など
- ・定期的なお薬の処方
- ・痛みや吐き気などの突発的な症状の診察や治療
- ・風邪をひいたときの診察や治療

年に何回かの  
専門的診療  
を担当

**NTT東日本  
関東病院**

- ・がんに関する特殊な検査 (CTやMRIなど)
- ・がんに関する特殊な診療や治療
- ・がんの症状が変化したときの対応

## 「東京都医療連携手帳」を使う利点！

### ■ 計画に沿った適切な診療の提供

診察予定表により「いつ」「どこで」「どんな」検査や診察を受ければよいか分かります。また、かかりつけ医とNTT東日本関東病院が患者さんの診療情報を共有できるので、同じ検査を重複して受ける必要はなくなります。

### ■ 2人の主治医がいる安心感

日頃の診察を担当するかかりつけ医と、年に何回かの専門的診療を担当するNTT東日本関東病院医師の2人が患者さんの主治医をつとめることで、安心して療養することができます。

なお、かかりつけ医は患者さんの病気(がん)のことを把握しているので、体調が良くないときも適切な診療を受けることができます。

## 「東京都医療連携手帳」の利用は…

NTT東日本関東病院 担当医は、医療連携が患者さんの診療に適しているかどうかを吟味し、患者さんやご家族に十分説明し同意を得た上で、手帳の利用を開始します。なお、使用開始後、途中での使用中止も可能です。

